

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/08/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.51	0.05
JPY/THB	0.2198	-0.0007
USD/JPY	147.89	0.70
EUR/THB	37.92	-0.06
EUR/USD	1.1661	-0.0042
USD/CNH	7.188	-0.001
SGD/THB	25.32	0.03
AUD/THB	21.10	-0.02
USD/INR	87.35	-0.21
USD Index	98.17	0.31

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.162	-0.019
10Y (THB)	1.346	-0.014
5Y (USD)	3.847	0.010
10Y (USD)	4.334	0.018

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,331.7	-4.3
WTI (Oil)	63.42	0.62
Copper	9,733.0	-40.5

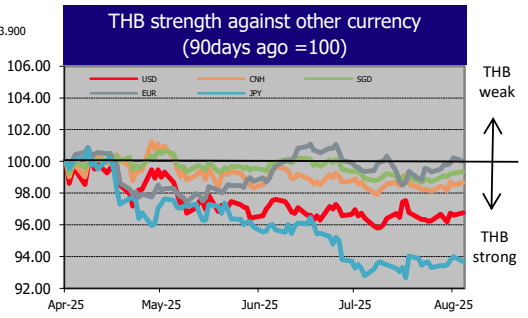
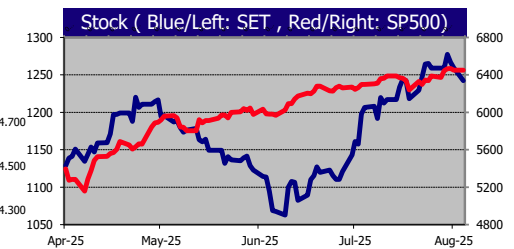
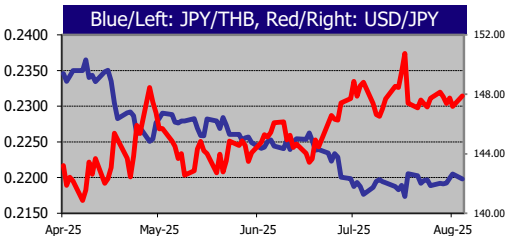
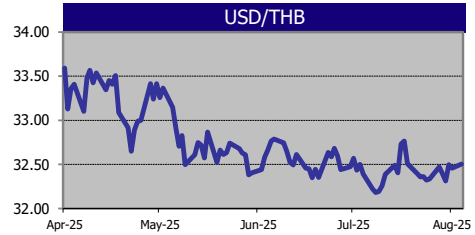
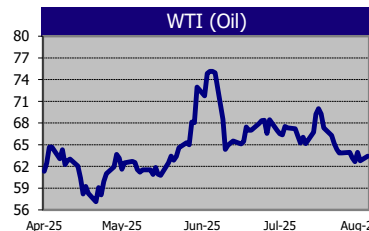
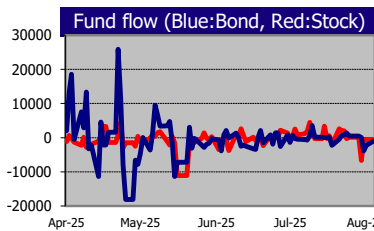
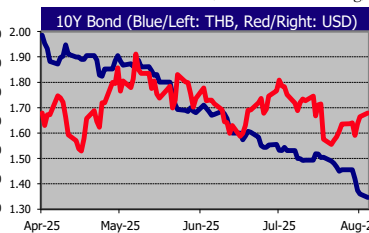
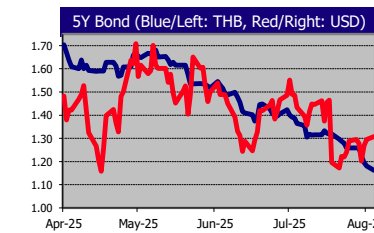
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,242.31	-17.11
NIKKEI (JP)	43,714.31	336.00
DOW (US)	44,911.82	-34.30
S&P500 (US)	6,449.15	-0.65
SHCOMP (CN)	3,728.03	31.26
DAX(GER)	24,314.77	-44.53

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(645)	-86.4
Bond net flow	(1,002)	1259.5

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

アジア時間のドルパーツは32.40パーツ台後半で取引を開始するとドル売り基調で推移。市場予想を上回るタイ4-6月期GDPが発表されるとこの日の安値の31.40パーツ台前半まで下げる場面も見られた。欧州時間入りにかけて新規材料に乏しい中、ジャクソンホール待ちの雰囲気でも方向感に欠ける推移となったが、NYオープン後は米金利の上昇を背景とした買いが優勢となりドル買い。32.50パーツ台前半をつけると、その後は手がかり乏しい中狭いレンジで推移し、そのままの水準で取引終了。

●ドル円その他

昨日のドル円は147円台前半で取引開始。東京朝方は買いが優勢で147円台半ばまで上昇するも、その後は材料難の中、ドル円は同水準での小動きが続き、欧州時間に渡った。欧州時間においては狭いレンジ内での推移が続いた後、147円台半ばでNYオープンを迎えると米金利の上昇を背景とした買いが進み、147円台後半まで上昇。午後は手がかり乏しく148円手前で伸び悩み、狭い値動きが続いてそのままの水準でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、日経平均株価が史上最高値を更新した。先週に引き続きの高値更新となっており、日本以外でも世界の主要株価は堅調に推移している。株価が堅調に推移している背景には、米関税の不透明感の後退や米利下げ期待などがあると見られる。一方で、米国が利下げすると先日の本欄にも記載した通り、インフレ上昇下での利下げとなり歴史的にも稀な局面を迎える。前回、このような局面が見られたのは2007年後半であり、その後に景気後退局面を迎えていることを踏まえれば、神経質になってしまうのは私だけだろうか。

そんな中、昨日サンフランシスコ連銀が新たな指標を発表した。LMSIとされる指標で、米国の州毎の失業率に注目し失業率が悪化している州が30州を超えると景気後退局面を迎えるというシグナルだ。レポートによれば、同指標は過去の多くの景気後退局面を的中させている。気になる足元での水準は1桁台となっており、同レポートによると同指標から判断すると景気拡張期にあるという。「(相場の変動が) 怖い、怖い」と言いながらもリスクオンムードはもうしばらく続くのだろうか。

相場の格言に「もう」は「まだ」なり、「まだ」は「もう」なりというものがあるが、相場転換のタイミングを計るのは容易ではない。とすれば、事前にヘッジできるリスクはヘッジしておいた方が良いのかもしれない。(綱島)